



古谷田大和市長（左）と田口市長。

この協定は、大和市中で開催される物産展「全国ふるさとまつりもの市」に、仙北市が参加していた繋がりが縁で実現しました。広範囲に影響をおよぼす災害が頻発している状況を背景に、同時被災のおそれが少ない自治体と協定を締結することで、緊急対策など迅速に受け取ることができるようになります。



会議の様子。

10月21日に仙北市ふるさとサポーター会議を開催しました。仙北市出身の方や仙北市の自然、文化、歴史をこよなく愛する方々に仙北市ふるさとサポーターになっていただいており、観光PR、産業振興を図るため、ご協力をいただいています。

新型コロナウイルス感染症感染拡大以降、令和2年度は中止、令和3年度は書面開催、昨年度はオンライン開催だったため、4年ぶりに対面での会議開催となりました。また、会場へお越しいただくのが難しい方も参加できるようWeb会議も接続したハイブリット体制で行いました。

10月に東京・京橋にオープンしたばかりのアクアコアベイを会場とし、ふるさとサポーターと市役所職員など合わせて7人が参加しました。

会議では仙北市から、7月の豪雨での災害報告や角館祭り曳山運行、田沢湖マラソンの実施、角館地区のよぶのる角館や田沢地区のたざわおたのしみバスの取り組みなどの近況を報告しました。サポーターの皆さまは仙北市の近況に興味を持たれ、活発に意見が飛び交いました。

市としては、仙北市ふるさとサポーターのご意見を参考にしながら、引き続き、サポーターと連携して地域活性化に取り組みます。



仙北市ブース。

今回の出展が移住者増加に直結するというものではありませんが、市としては引き続き、移住先としての市の魅力を発信し続けたいと考えています。



会場の様子。

あきたまるごとAターンのフェアに出展しました！

首都圏などから県内への転職・移住促進、観光PRを目指して

ふるさとサポーター会議を開催しました

首都圏などから仙北市への定住促進、観光PR、産業振興を目指して

災害時相互応援協定を締結

神奈川県大和市と

10月20日、神奈川県大和市と仙北市が「災害時相互応援協定」を締結しました。

市役所田沢湖庁舎で行われた締結式には、大和市から古谷田力市長、中丸剛仁危機管理監、仙北市から田口市長や赤上副市長のほか関係職員が出席。災害時に食料や飲料水など生活必需品の供給、応急復旧に必要な車輛などの資機材の提供などが明記された協定書に両市長が署名し、協定を締結しました。

秋の叙勲

令和5年秋の叙勲受章者が発表され、仙北市からは次の方々を受章されました。11月7日には、秋田県庁で伝達式が行われ、佐竹知事から伝達されました。心からお祝い申し上げます。（※年齢は受章時を掲載）

なお、佐々木茂義さんと羽根川専治さんは、12月に伝達が予定されています。また、第41回危険業務従事者叙勲受章者の皆さまも次号で紹介させていただきます。



菅原達美さん (70歳 角館町小勝田)

元大曲仙北広域市町村圏組合消防正監。昭和47年、大曲仙北広域市町村圏組合消防本部発足とともに消防吏員として採用されて以来、同組合消防長として平成26年3月に退職するまでの長きにわたり、地域の安全・安心のために尽力されました。



阿部則比古さん (75歳 西木町門屋)

元仙北市議会議員。平成13年、西木村議会議員に初当選以来、令和4年まで長きにわたり在職し、地方自治発展のため尽力されました。また、令和2年から令和4年まで、市民福祉常任委員長として、住民福祉の向上などに、市政の発展に貢献されました。

旭日双光章 (地方自治功労)

《秋の叙勲》



伊藤邦彦さん (77歳 西木町上荒井)

元仙北市議会議員。平成5年、西木村議会議員に初当選以来、令和4年まで長きにわたり在職し、地方自治発展のため尽力されました。また、平成13年から平成17年まで、西木村議会副議長として豊富な経験をもって職務を遂行し、地域の発展に貢献されました。

瑞宝単光章 (消防功労)

《秋の叙勲》



田口志良さん (71歳 田沢湖生保内)

元仙北市消防団分団長。昭和49年田沢湖消防団に入団。平成28年から平成31年まで分団長として活躍。入団より長きにわたり地域の防火・防災のリーダーとして、災害活動はもとより、団員の指導育成・技術の向上に努めるなど、消防団の発展に貢献されました。

ふるさと企業大賞 株式会社 町家ホテルが受賞

町家ホテルが受賞

10月26日、市役所角館庁舎で令和5年度ふるさと企業大賞（総務大臣賞）表彰伝達式が行われ、株式会社町家ホテルに表彰状が伝達されました。

このふるさと企業大賞は、一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）が、地域振興に資する事業を展開する民間事業者を選定し表彰するもので、今年度は全国で10事業者が選定されています。

受賞した佐藤永代表取締役は「コロナ禍で苦しい場面もあったが、これからもより地域を活性化させていきたい」と話しました。



ふるさと企業大賞（総務大臣賞）を受賞した株式会社町家ホテルの佐藤永代表取締役（写真中央）。

表紙の写真から



休む間もなくそばを打ち続けています。

この秋に収穫したそばで

新そばまつり

11月4日、仙北市そばの会による新そばまつり&高橋キヌ子社中&おやまばやし櫻義会合同演舞会が、就業改善センターで行われました。

新そばまつり当日は、会員4人がそば粉や水を計量。会場ではそばを打ち、打ち立てのそばを茹で、冷水でしっかりとしめ、こしのあるできたてのそばに冷たいつゆをかけた「冷やがけ」で提供されました。会場を訪れた人たちは、新そばの香り高く豊かな味わいに舌鼓を打っていました。

なかには、打ち立ての生そばを買って持ち帰る人もいて、打ち手の4人は休む間もなく、そばを打ち続けました。

また、仙北市そばの会では毎月第3土曜日に就業改善センターでそば打ち教室を開催していますので、お気軽にご参加ください。

11月4日、角館公民館主催の「伝統芸能ミニフェス秋の陣」が開催されました。

当日は、雨が降るあいにくの天気のため、予定していた小野崎家の書院から武道館に会場を変更しての開催となりました。

この秋の陣には、角館おやまばやし櫻義会が出演し「寄せ囃子」で開幕すると、軽快なお囃子を聞きつけた観光客の皆さんが会場を訪れました。また、高橋キヌ子社中の秋田おばこが、拳囃子や秋田音頭などの手踊りを披露すると、会場からは盛んに拍手が送られました。

観光で訪れたお客さんは「もう少し見たいけど、時間がない」と言っており、足早に会場から移動する姿も見られました。



伝統芸能ミニフェス 秋の陣開催

角館公民館主催

10月20日、田沢湖図書館を会場に「物語るテーブルランナー in 田沢湖」関連トークイベント「湖のそばで逢いましょ」が行われました。

「物語るテーブルランナー」を企画したアーティストの鴻池朋子さんなどのお話を聞こうと、図書館には60人以上の人が集まり、熱心にメモをとる人の姿も見られました。

トーク前半は、文筆家の大竹昭子さんの司会により、北秋田市での「物語るテーブルランナー」の始まりについて、鴻池さん、手芸家の東海林裕子さん、映像制作の長谷川拓郎さんなどが語りました。

後半は司会を鴻池さんに交代し、大竹さん、おとぎ話文化研究者の村井まや子さん、田沢湖図書館の職員が登場しました。「物語るテーブルランナー」が旅し

た先々で「アート」「手芸」「物語」と様々な受け止められ、見る人自身からも物語を引き出す不思議について、それぞれの視点から語られました。参加者からは「作品を見て、記録と記憶の違いについて考えた」というような感想も寄せられ、熱気あるトークイベントとなりました。



左から、司会の大竹さん、長谷川さん、鴻池さん、東海林さん。

走・跳・投で競い合う

仙北市小学生陸上競技大会

10月22日、県営陸上競技場（秋田市雄和）を会場に、第18回仙北市小学生陸上競技大会が開催されました。



各種目1位（敬称略）▶1年女子60m 新記録 千葉寧々（生保内ジュニアRC）▶同男子60m 古郡海都（西明寺小）▶2年女子80m 佐藤雪菜（角館陸上スポ少）▶同男子80m 新記録 田村新（桧木内ランナーズ）▶3年女子80m 荒川爽（スマイルジュニア）▶同男子80m 鈴木一輝（西明寺小）▶4年女子100m 山口葵澄（神代TFC）▶同男子100m 佐藤琉陽（同）▶5年女子100m 村岡理乃（角館陸上スポ少）▶同男子100m 佐藤来樹（西明寺小）▶6年女子100m 江橋杜和（同）▶同男子100m 伊藤泰斗（角館陸上スポ少）▶女子200m 鈴木未来（桧木内ランナーズ）▶男子200m 村上咲空（桧木内ランナーズ）▶女子800m 齋藤和（西明寺小）▶男子1000m 高階颯貴（生保内ジュニアRC）▶女子400mR 西明寺小▶男子400mR 同▶女子走高跳 山口葵澄（神代TFC）▶女子走幅跳 山本怜奈（角館陸上スポ少）▶男子走幅跳 伊藤泰斗（同）▶女子ジャベリックボール投げ 本間ここ（神代TFC）▶男子ジャベリックボール投げ 門脇祥真（西明寺小）

個人戦・団体戦で熱戦

第16回仙北市卓球大会

11月5日、第16回仙北市卓球大会が角館中学校体育館で開催され、個人戦に74人、団体戦に24チームが出場しました。当日の優勝者、優勝チームは次のとおりです。（敬称略）

個人戦▶小学校低学年 小野冬馬（てくてく倶楽部）▶小学校高学年 佐藤結斗（同）▶中学校男子 藤川煌（神代）▶中学校女子 田中結愛（西明寺）▶一般女子1部 鈴木楓香（角館高校）▶一般男子1部 伊藤媛音（角館高校）▶一般男子2部 木元一幸（エイブリック）

団体戦 角館高校女子A



団体戦で優勝した角館高校女子Aチーム。

健康で明るい地域づくりと住民の親睦を深める

第1回中川秋のスポーツ祭り

10月22日、中川コミュニティセンター体育館で「第1回中川秋のスポーツ祭り」が開催され、地域住民など約80人が参加しました。

これは、中川地区住民および出身者などを対象に、健康で明るい地域づくりと住民の親睦を深めることを目的に、中川地区コミュニティ連絡協議会主催によるもので、コロナ禍が明けてはじめての開催となりました。

当日は、地区別に6チームに分かれて、バブルボール相撲や綱引き、玉入れなどの種目で競い合いながら親睦を深めていました。

バブルボール相撲の種目は、バブルボールをかぶり1チーム3人の6人で相撲をとり、最後まで残った1人の



バブルボール相撲で熱戦を繰り広げました。

チームが勝利とするルールで、1回戦から決勝までのトーナメントで競い合いました。白熱した取り組みには、会場から盛んに拍手が送られていました。



オレンジリボンには、子ども虐待防止するというメッセージが込められています。

現在、全国的に児童虐待に関する相談件数は増加傾向にあり、子どもの生命が奪われる重大な事件が後を絶ちません。

今年も11月の「児童虐待防止推進月間」に合わせ、11月2日、タカヤナギワンダーモール店で、児童虐待防止PRキャンペーンと里親制度普及啓発活動を合同で開催し、里親支援専門相談員と市職員が、キャンペーングッズやリーフレットなどを配布しました。

児童虐待は、社会全体で解決すべき問題です。心配な子どもを見かけた際には、見過ごさず全国共通ダイヤル189番へ通報してください。

11月は児童虐待防止推進月間です

社会全体で子どもを守る



ルアーフィッシングクラブ「P.M.C KAKUNODATE」の皆さん。

10月28日、角館漁業協同組合の若手組合員によるルアーフィッシングクラブ「P.M.C KAKUNODATE」（加藤侯信会長）が、古城橋から横町橋にかけて、松木内川河川敷のクリーンアップ活動を行いました。

加藤会長は「今年は大雨の影響があったものの、コロナ禍が明け、県内外から多くの釣り人が訪れ、釣りを楽しんでと思う。これからは我々だけではなく皆で自然を大事にし、未来のアングラーツにつながる活動が重要で、クラブとしてもその一躍を担えればと思っております」と話しました。

クリーンアップを実施

自然や環境を守るために



表彰される米沢研吾さん。（写真右）

- 第51回角館町榊細工伝統工芸展**
- 第51回角館町榊細工伝統工芸展が角館榊細工伝承館で開催され、秋田県知事に米沢研吾さんの作品「深ちらし皮白型茶筒」が選ばれました。
- 同展には、榊細工職人をはじめ榊細工問屋から伝統的工芸品の部に9点、一般品の部に24点の出品がありました。
- 審査の結果（賞名・作品名・受賞者）は、次のとおりです。（敬称略）
- 秋田県知事賞** 深ちらし皮白型茶筒／米沢研吾
 - 東北森林管理局長賞** 二度皮香合／米沢研吾
 - 仙北市長賞** 抹茶入／三浦勇
 - 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞** 総皮茶筒 ひび皮／藤村浩美
 - 秋田県伝統的工芸品等産業振興協議会長賞** 茶筒／三浦勇
 - 秋田県議会議長賞** 芯入り小箱 網代張／鈴木光男
 - 仙北市議会議長賞** 長手小箱／千葉秀喜
 - 一般社団法人田沢湖・角館観光協会賞** カトラリーBOX／（株）藤木伝四郎商店
 - 仙北市商工会長賞** Surface／（有）富岡商店
 - 角館町榊細工振興育成協会賞** 腕時計／（株）八柳
 - 田口鉄蔵賞** 双口シリーズ キャニスター／荒川慶太郎
 - 秋田魁新報社賞** かんざし／（株）八柳
 - NHK秋田放送局賞** 総皮茶筒 ひび皮 帯付 裾巻 し／藤村浩美
 - ABS秋田放送賞** 芯入り小箱 風景大波／鈴木光男
 - AKT秋田テレビ賞** 八角小箱／（株）藤木伝四郎商店
 - AAA秋田朝日放送賞** ペンダント／角館工芸協同組合

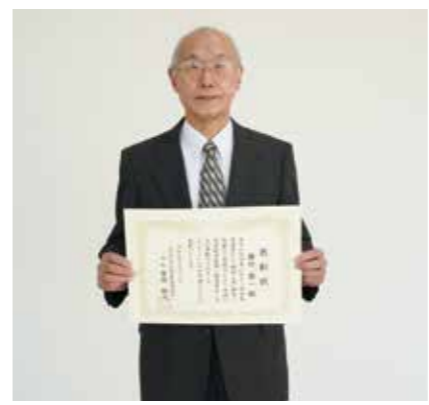
栄光・表彰 ～輝くとき

社会教育に尽力

東北地区 社会教育委員 連絡協議会表彰

10月13日、令和5年度東北地区社会教育研究大会が宮城県仙台市で開催され、社会教育委員の藤村榮一さんが、東北地区社会教育委員連絡協議会表彰を受賞されました。

藤村さんは、仙北市発足以来、長きにわたり社会教育委員として、地域の社会活動や仙北市社会教育中期計画策定の中心として積極的に関わり、仙北市の社会教育の振興と発展に尽力されたことが評価され、今回の受賞となりました。



東北地区社会教育委員連絡協議会表彰を受賞された藤村榮一さん。

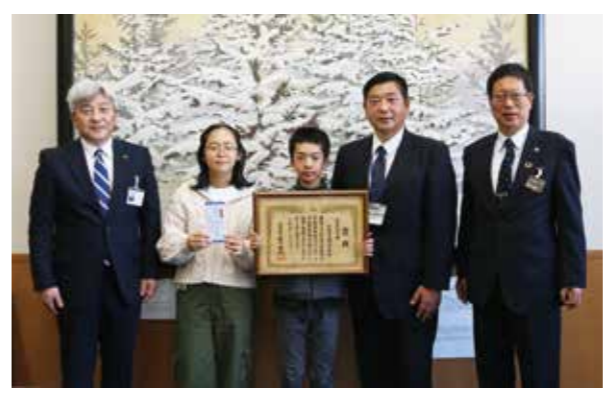
秋田県学校関係緑化コンクール

神代小学校が県知事賞を受賞

令和5年度秋田県学校関係緑化コンクールで、神代小学校が最高賞となる県知事賞を受賞し、秋田県の代表として全日本学校関係緑化コンクールに推薦されています。

10月23日には、市役所西木庁舎で表彰式が行われ、同校の児童を代表し環境委員会委員長の清水瑛太さんと運営委員会委員長の羽場仁子さんが出席し、県教育委員会南教育事務所仙北出張所の大阪所長から、賞状と副賞が手渡されました。

賞状を受け取った清水さんは「花の種類が多く彩りある花だんで、納得する花だんになってうれしい」と話しました。



賞状を受け取った清水瑛太さん（中央）、副賞を受け取った羽場仁子さん（左から2人目）。

また、副賞を受け取った羽場さんは「縦割りの班で花だんを管理し、6年生として班をまとめることが難しく大変だった。でも、きれいな花が咲くので、これからも花を育てていきたい」と話しました。

郷土民謡舞全国大会

藤原ミサ子社中 グランプリ準大賞

10月20日から22日まで、さいたま市文化センターを会場に令和5年度第63回郷土民謡舞全国大会が開催され、藤原ミサ子社中（藤原舞香さん、藤原那美さん、村上彩音さん、熊谷奈々子さん、高橋心晴さん、鈴木夢夏さん）が、民謡グランプリの部に「秋田大黒舞」で出場しました。

この大会は、一般財団法人日本郷土民謡協会が主催するもので、民謡グランプリの部に12団体が出場し、そのうち4団体が準決勝に進出。その後に行われた決勝では、グランプリ準大賞の成績を収めました。

10月30日には、市役所田沢湖庁舎を訪れ、赤上副市長へ出場と結果を報告しました。報告に訪れた秋田生保内支部の地主重雄代表は「大賞を取るまで挑戦したい」と話しました。また、シニア編二部に出場した近藤みつ子さんが、「秋田おばこ節」を披露し入賞しています。



全国大会決勝でグランプリ準大賞。

令和5年度全国小学生ソフトテニス大会秋田県予選会

仙北市ジュニアから 全国大会へ

10月14日、令和5年度全国小学生ソフトテニス大会秋田県予選会が大館市高館公園テニスコートで開催されました。

この大会の女子4年生以下の部に出場した江橋楓さん（仙北市ジュニア・西明寺小4年）、小原妃生さん（天曲ジュニア・大川西根小4年）ペアが準優勝の成績を収めました。

また、男子4年生以下の部に出場した武藤小太郎さん（仙北市ジュニア・神代小4年）、伊藤篤希さん（南外神岡ジュニア・南外小4年）ペアが第3位の成績を収めました。

この結果、2ペアは秋田県の代表として、令和6年3月29日から31日まで千葉県白子町を会場に開催される第23回全国小学生ソフトテニス大会への出場が決まりました。



左から、小原妃生さん、江橋楓さん、伊藤篤希さん、武藤小太郎さん。



秋晴れのもと、たくさんの人で賑わいました。

10月14日と15日の2日間、落合運動公園や桜並木を会場に、「秋彩こみちinかくのだて」が開催され、多くの人で賑わいました。
これは、実行委員会が主催するクラフト市で、今回で5回目の開催となります。会場には、ガラスや陶磁、木工、布物などのクラフト作家や飲食店など約90のブースが設けられ、県内外の作り手が秋の角館に集結しました。
会場を訪れた人は、お気に入りの品物を手にとって、作り手との会話を楽しむなど、秋晴れのもと楽しんで過ごしていました。

秋彩こみち inかくのだて

作家が角館に集結



サポーターパークに着地する様子。

10月8日、たざわ湖スキー場周辺で「2023チャレンジハイク&フライin田沢湖」が、初めて開催されました。これは、山登りとパラグライダーを組み合わせるもので、指定されたポイントを徒歩またはパラグライダー飛行で通過し、ゴールまでのタイムを競う競技です。
当日は、エキスパートとチャレンジのクラスに全国から21人が出場。パラグライダーの装備を背負った選手は、たざわ湖スキー場の駐車場をスタートし、グレンデ中腹まで駆け上がり、そこからパラグライダー飛行してサポーターパークに着地。再度、黒森グレンデまで駆け上がり、パラグライダー飛行してブランドに着地し、スタート地点と同じくするゴールを目指しました。

チャレンジハイク&フライin田沢湖

たざわ湖スキー場で新たな競技



思い出の湯分校にレトロな雑貨が並べられました。

11月4日と5日の2日間、思い出の湯分校で、たざわクラフト市特別企画「ゆるりマーケット」が開催されました。
当日は、クラフト作家による作品や私物のフリーマーケット、古道具、レトロ雑貨、古本のほか、お菓子、軽食などの飲食店も含め30店ほどが出店しました。たざわクラフト市では見られないような珍しい絵本などの品々を手にとって「なつかしい」といいたが、ページをめくっていました。
また、市外から今回はじめて出店した人は「レトロな湯分校と、ここを訪れる人が多いことにびっくりした」と話しました。

ゆるりマーケット

たざわクラフト市



最後は、出演者全員がステージで「はずむ心のマーチ」を演奏しました。

11月12日、仙北市民会館で市民会館自主事業「仙北市音楽交流会 音の泉」が開催されました。
これは、市内の音楽団体が一堂に会し音楽を通じて交流することを目的とした初めての取り組みです。
当日は、スウィングチエリーズのほか、生保内中学校吹奏楽部、角館小学校金管バンド部、ドリームハーモニー、西明寺小学校ジュニアブラス部、神代小学校器楽部、生保内小学校金管バンド部が出演しました。

仙北市音楽交流会 音の泉

市民会館自主事業



関係者によるテープカットで産業祭が開幕しました。



会場は農産物などを買い求める人で賑わいました。

10月28日、29日の2日間、角館交流センターと市役所角館庁舎第一駐車場で会場に「第16回仙北市産業祭」が開催されました。
関係者によるテープカットで開幕した会場では、この秋に収穫された仙北市産新米「サキホコシ」や西明寺栗の焼き栗、野菜、くだものなどが販売されたほか、市議会議員有志による餅つきの実演販売、キッチンカーも出店するなど、会場は多くの人で賑わいました。
また、角館中学校の生徒による「脱プラスチック米を育てて海ごみゼロ宣言」の取り組みで、

実りの秋
幸福をともに楽しもう

第16回 仙北市産業祭

田植えから収穫作業を体験して収穫したお米を生徒自ら販売したほか、西明寺小学校児童による長ネギの即売が行われ、会場を訪れた人たちは、両手に持ちきれないほどの品物を買っていました。
角館交流センターの多目的ホールステージでは、角館こども園の園児、角館高校飾山囃子部、創作和太鼓桂組によるお楽しみ企画が開催されました。
29日には、屋外特設会場で「仙北市交通安全フェア」が行われ、交通安全啓発のためパトカーなどの車両展示や乗車体験が行われました。

日頃の活動成果を発表

仙北市文化祭

仙北市文化祭が、角館・田沢湖・西木の各地区で開催されました。

【角館地区文化祭】
10月14日と15日の2日間、角館交流センターで開催されました。会場には、公民大学や各種サークルなどの力作が展示されたほか、芸術文化協会によるステージ発表が行われました。



【田沢湖地区文化祭】
10月21日と22日の2日間、田沢湖総合開発センターで4年ぶりに開催されました。会場には、各種サークルなどの力作が展示されたほか、呈茶や朝採り野菜、おやきなどが販売されました。



善意ありがとうございます
11月3日、西木地区文化祭の開会に先立ち、炊き出し用調理器具の贈呈式が行われ、仙北市地域婦人連絡協議会の荒木和子会長から須田教育長に目録が手渡されました。
寄贈いただいたのは、炊き出し用の炊飯器と寸胴鍋、ガスコンロ、調理台のセット一式で、今後公民館の防災教室などで有効に活用させていただきます。

